

国語科における自分の考えを広げたり、まとめたりする話合いの指導改善

ーファシリテーションの技術を生かした支援を通してー

前橋市立荒子小学校 小林 あつみ

I 主題設定の理由

「令和5年度 まえばし学校教育充実指針」では、「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童生徒の『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」が求められており、学校の取組例として、「どのような考えを、どのように整理し、どのような成果を期待するのかを明確にした交流活動の設定と児童生徒の考えをコーディネートする教師の働きかけの工夫」が挙げられている。このことから、日々の授業の中で、子供たちが話合いを通して、共に学び合いながら課題を解決できるよう、教師が支援することが重要であると考えます。

本校の児童は、自分の考えを伝えることはできるものの、相手の考えを受け止めて自分の考えを述べたり、自分の考えを見直して再構築したりするまでには至っていないように見受けられる。また、児童アンケートの結果から、話し合う目的や必要性をあまり意識できていないこと、話合いに対して心理的なハードルを感じて、伝え合いがうまくいかず、考えが深まらないことが分かった。筆者自身の指導を振り返ると、話合いの形式や話し方・聞き方の留意点に重点を置いて指導していたことが多く、児童が考えを出し合い、広げたりまとめたりするための指導や支援は不十分であった。児童が話し合う目的を明確にし、意見を比較し整理する方法を工夫するためには、活動の状況に応じて教師が適切に支援する必要がある。

そこで、本研究ではファシリテーションの技術を取り入れた教師の支援について研究することとした。ファシリテーションとは、「交流の場とプロセスを整える、チームマネジメントの六つの技術」（阿部・ちよん, 2017, p 12）であり、この技術を用いて課題を解決するためのプロセスを作るのがファシリテーターである。教師がファシリテーターとして支援することで、児童が話合いに対する目的意識を高めたり、話合いの方法を理解して意見を比較し整理したりして、自分の考えを広げたり、まとめたりする話合いが実現できるのではないかと考えた。

以上のことから、本研究の主題を「国語科における自分の考えを広げたりまとめたりする話合いの指導改善」と設定した。

II 研究のねらい

国語科における自分の考えを広げたりまとめたりする話合いの指導改善を図るために、ファシリテーションの技術を生かした支援を行うことの有効性について、実践を通して明らかにする。

Ⅲ 研究の見通し

国語科において、ファシリテーションの技術（石川・ちょん, 2022, p. 46）を生かして支援することで、自分の考えを広げたりまとめたりする話合いの指導改善を図ることができるであろう。

【手立て】ファシリテーションの技術を生かした支援

「説明」「問い立て」「評価・分析」「可視化・可聴化」「隊形」「設計」の六つの技術を生かして、話合いの支援を行う（表 1）。

Ⅳ 実践内容

本研究では、第 5 学年 24 名、国語科「A 話すこと・聞くこと」の「よりよい学校生活のために」（全 6 時間）において、授業実践を行った。

表 1 ファシリテーションの技術、本研究におけるねらい及び取り入れた場面

技術	本研究におけるねらい	取り入れた場面 (全 6 時間)
説明	児童が話合いの進め方等を理解できるようにするために、授業を構想する段階で児童にとってイメージしやすく、伝わりやすい言葉を選び、説明を練り上げる。	全時間
問い立て	交流を活性化させるために、児童が自分のこれまでの取組を見直したり、既習の知識や経験を関連付けて考えたりすることを促し、学習課題や発問を工夫する。	【つかむ】 第 1 時 【追究する】 第 2・3 時 【まとめる】 第 6 時
評価・分析	児童のつまずきや進度に合わせて教師が具体的な支援を考え、適切に関わるために、目に見える言動だけではなく、その背景や理由を想像し、分析する。	【追究する】 第 4・5 時
可視化・可聴化	話し合う内容を焦点化し、考えの比較や情報共有をしやすくするために、板書や ICT、思考ツールなどを活用して、考えや話合いの流れを見えるようにする。また、振り返りの際に話合いの成果と課題を見付けやすくするために、話合いの音声を録音し、聞き直すことができるようにする。	【つかむ】 第 1 時 【追究する】 第 2～4 時 【まとめる】 第 6 時
隊形	話合いが活性化するようにするために、目的に合ったペア、4 人組などのグループを編成する。	【追究する】 第 4・5 時 【まとめる】 第 6 時
設計	児童の考えが広がりまとまる話合いにするために、上記の五つの技術を使って、単元や単位時間の学習活動を組み立てる。	全時間

1 実践の概要

ここでは、「クラスみんなで自分の仕事を忘れずにがんばるにはどうしたらよいか」という議題について、グループで互いの立場を明確にししながら意見を出し合い、まとめる話合いを行った第 5 時において、「評価・分析」「可視化・可聴化」「隊形」を取り入れた場面について述べる。

【評価・分析】

話合いの様子に応じて教師が適切に関わることができるようにするために、前時までの児童の活動の様子や振り返りから見取ったことを基にして、話合いで予想される児童のつまずきとそれに対する教師の助言を想定したシナリオ (p. 98 資料 1) を用意し、机間指導の際に活用した (図 1)。また、児童が自分たちや他のグループの話合いのよさに気付けるようにするために、教師が見取ったそれぞれのグループのよかったところを全体に伝えた。具体的には、「計画的に話し合っていたこと」



図 1 シナリオを活用し、教師が助言している様子

「立場を明確にして意見を比較できていたこと」「目的に沿って意見をまとめられたこと」などである。

【可視化・可聴化】

互いの立場を明確にして意見を比較することができるようにするために、思考ツールの座標軸を印刷したワークシートと付箋を用いた（p. 98資料2）。似ている意見の付箋同士を近くに寄せたり、新しい意見の付箋を付け足したりしたことによって、それぞれの立場や話合いの過程と結果が一目で分かるようにした（図2）。また、グループごとに話し合う声を学習者用端末で録音し、自分たちが話し合った声を聞き直すことで、話合いの成果と課題について振り返ることができるようにした。



図2 ワークシートと付箋を用いて意見を整理する様子

【隊形】

児童が安心して発言できるようにするために、4人グループとした。また、児童が自分の役割を意識して計画的に話し合うことができるようにするために、「司会者」「記録係」「発表係」「録音係」の四つの役割を分担するようにした。さらに、声が交じり合わないようにするために、グループ間の距離についても可能な限り離すようにした。

2 結果と考察

第5時においては、どのグループも時間内に議題に対する意見をまとめることができた（p. 99資料3）。その中で、話合いが滞っていたグループに、発言や質問の仕方をまとめた「話し方ヒントカード」を示して助言したところ、それを参考にして質問し合い、意見をまとめることができた（表2）（p. 99資料4）。このグループのA児は「話合いの中で、先生に司会の進め方についてヒントをもらってうまく進められた」と振り返っていた。

表2 第5時の話合いの場面での教師と児童のやり取り

教師：今、どこで止まっていますか。
A児：質疑応答で止まっています。
B児：みんな質問ができなくて。
教師：（「話し方ヒントカード」を示しながら）一つ一つの意見について、 <u>このように詳しい説明や考えを聞く質問をしてみたらどうでしょう？</u>
B児：ああ、なるほど。「当番を確認する」とは、具体的にはいつ誰がするのですか？
（話合いは続く）

また、別のグループのC児は、「付箋に整理して、意見を比べて、しっかり共通点や違うところを見付けられたおかげで、最後はうまく意見をまとめられた」と振り返っていた。D児は、「〇〇さんが□□さんの意見に質問をしてくれたから、班のみんなでよりよい意見をまとめられた」と振り返っていた。単元の振り返りにおいて、E児は「自分の意見をはっきり言って、質問や賛成、反対を言うとうまく進められると思う。詳しく意見を言って、みんなに分かりやすく伝えたり、目的から外れないように話し合ったりすることが大切だと思う。」と振り返っていた（p. 99資料5）。

話し合う内容を焦点化し、思考ツールを活用して一人一人の考えを【可視化】したことにより、互いの立場や考えを聞き合いながら、考えをまとめることができたと考えられる。また、教師が各グループの様子を【評価・分析】しながら必要に応じて関わることで、それぞれのグループがよりよい話合いの方法について学ぶことができたと考えられる。さらに、教師が【評価・分析】しながら児童の話合いのよさを価値付けたことによって、より

よい話し合いの方法について自分の考えをもつことができたと考えられる。一方、【可聴化】については、声が小さかったり、周囲の雑音が交ざったりしてしまっており、録音を聞き返したときに不明瞭な部分が多く、振り返りに上手く活用できないグループもあった。今後は、録音の方法や机の配置を工夫する必要があると感じた。【隊形】については、4人グループで四つの役割を分担したことで、児童一人一人が主体的に話し合いに参加し、役割を意識して計画的に話し合いを進めている姿が見られた。

表3 話し合いへの意識に関するアンケート結果(単位は%)

質問項目	時期	当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり 当てはまらない	当てはまらない
A ペアやグループで話し合うことは好きか	6月	33.3	37.5	16.7	12.5
	10月	37.5	45.8	12.5	4.2
B 意見を交流したら、それを自分の意見や作品に生かしているか	6月	20.8	54.2	20.8	4.2
	10月	20.8	66.7	8.3	4.2

表4 実践後のアンケート「単元を振り返ってできるようになったこと」への記述

・班の中で出た意見をつなげてさらによい意見にすることができた。
 ・前は理由やリアクションなどが言えなかったけれど、少し意見を言うのが得意になった。
 ・グループのみんながしっかり意見を言えるようになったし、共通点などを探すとき、ワークシートを使って、みんなで「これとこれは同じだね」と相談して意見を整理することができた。

また、表3の数値を見ると、質問項目A、Bのどちらの回答も概ねプラスに転じている。さらに、実践後のアンケート「話し合いの技術は10点満点で表すとどれくらい向上したか」に対して、75%以上の児童が6点以上を付けた。アンケートの記述からも、児童が話し合いに対して手応えを感じていたことが分かる(表4)。

これらのことから、ファシリテーションの技術を生かした支援を行ったことで、役割や目的、話し合いの進め方に対する理解が進み、自信をもって話し合うことができる児童が増えたと考えられる。また、話し合いで、互いの考えを出し合いながら、考えを広げたりまとめたりすることができるようになったと考えられる。

V 研究のまとめ

1 研究の成果

ファシリテーションの技術を生かして支援することで、話し合いの目的や方法を児童が明確に意識するようになり、互いの考えのよいところを見付けたり、比較して考えたりすることができた。また、児童一人一人が、立場や意図を明確にしながら計画的に話し合ったことにより、意見発表に留まらず、友達の考えと比較することを通して、自分の考えを広げたり、まとめたりすることができた。実践後の国語や総合的な学習の時間などの話し合いにおいても、目的を意識して協力して話し合う姿が見られるようになった。筆者自身の気持ちにも余裕が生まれ、授業中に児童の様子を今まで以上に見取れるようになった。

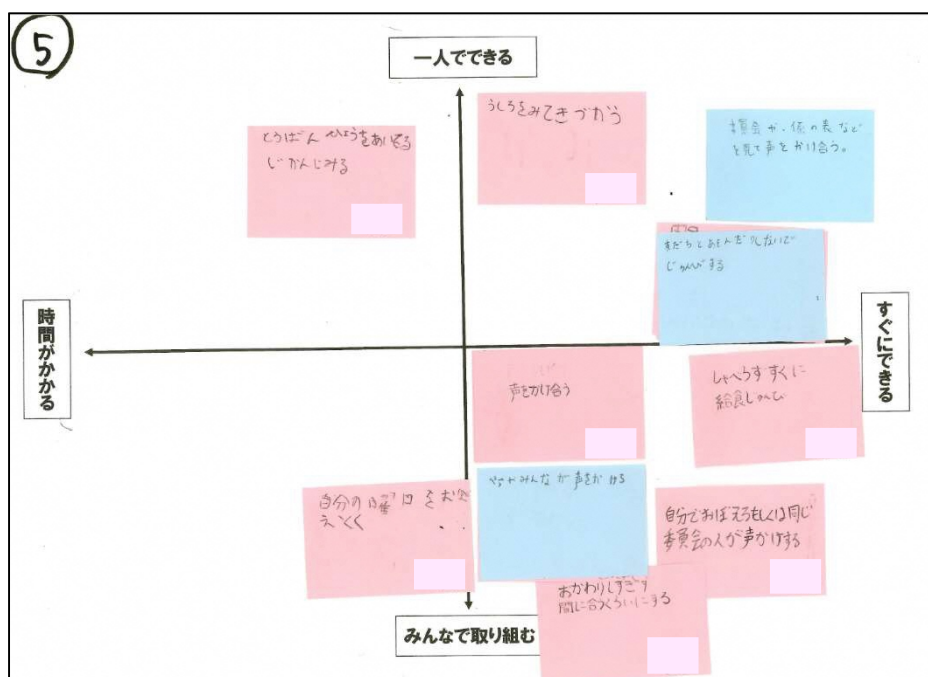
2 今後の課題

今回は「話すこと・聞くこと」の授業で実践を行ったが、今後は、他領域や他教科の話し合いでもファシリテーションの技術を生かし、その有効性を検証していきたい。話し合いの指導改善は一つの授業で成し遂げられるものではないので、児童が話し合いの経験を重ね、話し合うことの楽しさや達成感を味わえるよう、今後も指導を継続していきたい。

【資料 1】 第 5 時のファシリテーションシナリオ【設計】

設計	【ファシリテーションシナリオ】（5／6 時間目）	
説明	1 前回は、話し合いの進め方を決めて、グループで意見を出し合いましたね。 （学習計画を見ながら） 今日は5時間目です。まとめる話し合いをしましょう。 今日のめあては「たがいの立場を明確にし、計画にそってまとめる話し合いをしよう。」です。（板書、声に出して読む）話し合いのプロを目指して頑張りましょう。 2 話し合いの進め方を確認しましょう。 司会、記録、タブレット（録音）、発表担当は前回決めた人です。 （進行計画を簡単に確認） 今日は、皆で意見を出し合って最後にグループの意見をまとめます。目的はどれでしょう？（よりよくする）皆で練り合ってよりよい解決策を考えましょう。 話し合いのポイントを確認しましょう。（模造紙を見ながら確認） 特に、互いの立場を明確にすること、計画的に話し合うことを意識しましょう。	児童が話し合いの進め方等を理解しやすくするために、ポイントを絞り、児童がイメージしやすく伝わりやすい言葉を選びました。
	評価・分析	3 では、グループごとに話し合いを始めてください。 （各グループの様子を見て） ・話し合いの目的をもう一度確認しましょう。 ・この話し方を参考に見てみましょう。 ・共通点や違うところを見つけてみましょう。 ・長所と短所を考えて比べましょう。 ・具体的に取組める案を考えてみましょう。 ・一番効果的な解決策はどれか考えてみましょう。 ・新しい意見や合体させた意見もいいですよ。（青い付箋に書いて貼る） ※残り 10 分、5 分で声掛け。 グループで、まとめた意見をワークシートに書くよう促す。 4 グループで話し合った結果をみんなで共有しましょう。 （1 班ずつ発表） <u>発表を聞いてみて気づいたことや感じたことはありますか？</u> どのグループも、しっかり話し合って解決策をまとめられましたね。これから取り組んでいきましょう。 5 では、今日の振り返りをしましょう。<u>今日は、互いの立場を明確にして話し合うことができたか？計画的に話し合いができたか？話し合いのポイントの何をどのように生かしたか、実際に話し合ってみた感想をワークシートに書きましょう。</u> どんなことがうまくいきましたか？（意図的指名で数人発表） 次回は今回の学習を振り返って、よりよい話し合いの仕方について、クラスみんなで考えましょう。
問い立て	児童が授業のねらいに沿った振り返りができるようにするために、考える視点をもてるような発問を考えました。	

【資料 2】 話合いで用いた座標軸のワークシート【可視化・可聴化】



【資料3】話し合いによりまとめられた意見

1班	時計を見たり、自分の曜日を把握したりする。また、給食当番は声を掛け合い、しゃべらず静かに準備する。
2班	当番制の委員会は、カードを作って次の当番に渡す。
3班	自分の委員会の当番の時、表を見て委員会のリボンをつける。
4班	委員会の仕事をしたか確認できるカードを作る。また、委員会や係の表を見て遊びに行くのを止めてあげる。
5班	友達と遊ばずに、委員会や係の表を見て声を掛け合う。
6班	当番の仕事の時間を決め、遅い人がいたら声を掛ける。それでも遅い人がいたら、目立つところに当番表を貼る。

【資料4】話し方ヒントカード

話し方ヒントカード

名前

【進行、確認など】

- ・これから、〇班の話し合いを始めます。議題は、「
」です。よろしくお願いします。
- ・〇〇について、意見を申し出ましょう。
- ・〇〇さんから順番に意見を言ってください。
- ・〇〇さんは、どのように考えますか。
- ・〇〇という意見について、質問のある人はいますか。
- ・時間になりました。では、〇〇について意見を言ってください。
- ・〇班で話し合った結果、「
」という意見にまとまりました。(決まりました)

【質問するとき】

<<わかり説明や考えを聞く>>

- ・具体的に言うと、どういうことですか。
- ・〇〇とは、例えばどういうことですか。
- ・原因として考えられるのは、どんなことですか。

<確認をする>

- ・つまり、〇〇ということですか。
- ・〇〇とは、□□のことですか。

<理由や方法をきく>

- ・どうして〇〇と考えるのですか。
- ・どのようにして、〇〇ですか。

<相手の評価、判断をきく>

- ・どちらが〇〇ですか。
- ・〇〇という点については、賛成(反対)ですか。
- ・わたしは〇〇と思うのですが、どうですか。



【資料5】E児の単元の振り返り【評価・分析】

国語 よりよい学校生活のために 名前	
【めあて】話し合いの様子を振り返り、よりよい話し合いのしかたについて考えをまとめよう。 ○グループでの話し合いを振り返って、1〜5点の点数をつけてみよう。	
目的から外れずに話し合うことができた。	5
立場をはっきりさせて話し合うことができた。	3
進行計画にそって、計画的に進めることができた。	4
合計 12	
(5) 班の (記録) 担当	
〇うまかったこと、工夫したこと 〇11のきいたこと、気づいたこと 〇12のきいたこと、気づいたこと 〇13のきいたこと、気づいたこと 〇14のきいたこと、気づいたこと 〇15のきいたこと、気づいたこと 〇16のきいたこと、気づいたこと 〇17のきいたこと、気づいたこと 〇18のきいたこと、気づいたこと 〇19のきいたこと、気づいたこと 〇20のきいたこと、気づいたこと 〇21のきいたこと、気づいたこと 〇22のきいたこと、気づいたこと 〇23のきいたこと、気づいたこと 〇24のきいたこと、気づいたこと 〇25のきいたこと、気づいたこと 〇26のきいたこと、気づいたこと 〇27のきいたこと、気づいたこと 〇28のきいたこと、気づいたこと 〇29のきいたこと、気づいたこと 〇30のきいたこと、気づいたこと 〇31のきいたこと、気づいたこと 〇32のきいたこと、気づいたこと 〇33のきいたこと、気づいたこと 〇34のきいたこと、気づいたこと 〇35のきいたこと、気づいたこと 〇36のきいたこと、気づいたこと 〇37のきいたこと、気づいたこと 〇38のきいたこと、気づいたこと 〇39のきいたこと、気づいたこと 〇40のきいたこと、気づいたこと 〇41のきいたこと、気づいたこと 〇42のきいたこと、気づいたこと 〇43のきいたこと、気づいたこと 〇44のきいたこと、気づいたこと 〇45のきいたこと、気づいたこと 〇46のきいたこと、気づいたこと 〇47のきいたこと、気づいたこと 〇48のきいたこと、気づいたこと 〇49のきいたこと、気づいたこと 〇50のきいたこと、気づいたこと 〇51のきいたこと、気づいたこと 〇52のきいたこと、気づいたこと 〇53のきいたこと、気づいたこと 〇54のきいたこと、気づいたこと 〇55のきいたこと、気づいたこと 〇56のきいたこと、気づいたこと 〇57のきいたこと、気づいたこと 〇58のきいたこと、気づいたこと 〇59のきいたこと、気づいたこと 〇60のきいたこと、気づいたこと 〇61のきいたこと、気づいたこと 〇62のきいたこと、気づいたこと 〇63のきいたこと、気づいたこと 〇64のきいたこと、気づいたこと 〇65のきいたこと、気づいたこと 〇66のきいたこと、気づいたこと 〇67のきいたこと、気づいたこと 〇68のきいたこと、気づいたこと 〇69のきいたこと、気づいたこと 〇70のきいたこと、気づいたこと 〇71のきいたこと、気づいたこと 〇72のきいたこと、気づいたこと 〇73のきいたこと、気づいたこと 〇74のきいたこと、気づいたこと 〇75のきいたこと、気づいたこと 〇76のきいたこと、気づいたこと 〇77のきいたこと、気づいたこと 〇78のきいたこと、気づいたこと 〇79のきいたこと、気づいたこと 〇80のきいたこと、気づいたこと 〇81のきいたこと、気づいたこと 〇82のきいたこと、気づいたこと 〇83のきいたこと、気づいたこと 〇84のきいたこと、気づいたこと 〇85のきいたこと、気づいたこと 〇86のきいたこと、気づいたこと 〇87のきいたこと、気づいたこと 〇88のきいたこと、気づいたこと 〇89のきいたこと、気づいたこと 〇90のきいたこと、気づいたこと 〇91のきいたこと、気づいたこと 〇92のきいたこと、気づいたこと 〇93のきいたこと、気づいたこと 〇94のきいたこと、気づいたこと 〇95のきいたこと、気づいたこと 〇96のきいたこと、気づいたこと 〇97のきいたこと、気づいたこと 〇98のきいたこと、気づいたこと 〇99のきいたこと、気づいたこと 〇100のきいたこと、気づいたこと	

<参考文献>

- 石川晋・ちょんせいこ (2022). 対話で学びを深める 国語ファシリテーション フォーラムA企画
- 岩瀬直樹・ちょんせいこ (2013). よくわかる学級ファシリテーション3ー授業編ー(信頼ベースのクラスをつくる) 解放出版社
- 光村図書 国語 五 銀河 平成31年検定済
- 前橋市教育委員会 (2023). 令和5年度まえばし学校教育充実指針